

エッセイ 制定の軌跡③

石狩市視覚障がい者協会 桑澤清元さん



「白杖を頭上に掲げて立ち止まっていたら「困っています」のサインです。」

私は、もともと歯科技工士として働いていましたが、50代で緑内障を発症し、視力を失いました。その後、函館視力障害センターで3年間勉強をして、あん摩マッサージ指圧師の国家資格を取得し、施術師として働いてきました。

現在、石狩市視覚障がい者協会瞳会で会長を務めています。その関係から条例の検討委員になりました。委員会では毎回書類が配られました。私が読むことができませんでした。事務局の方がいつも音声化したものを届けてくれました。CDで30枚以上。これは本当にうれしかったです。

その委員会の席で、右の写真の「白杖のOSサイン」を市民の皆さんに知してほしいとお話したことがあります。今回、広報紙で実現することができました。市民の皆さんも「OSサイン」を見かけたら、ぜひ声をかけてもらえませんか？ぜひ「OSサイン」をお願いします。

障がい福祉課
TEL 0133-73-5444
FAX 0133-73-2270

広告